


「高千穂郷」通信

NO.193

平成31年2月号


(発行：宮崎県西臼杵支庁)

高千穂・日之影線「乙女大橋」起工式



1月9日(水)に、乙女大橋の起工式が、林野庁長官代理の春日森林土木専門官をはじめ、甲斐環境森林部長、緒嶋県議会議員のほか多数の来賓や、工事関係者、地元関係者の出席のもと盛大に開催されました。

この乙女大橋は、高千穂町狩底地区と日之影町乙女地区を結ぶ全長114m、総工費約8億円をかけて整備される林道橋で、3年後の供用開始を目指して下部工が着工されています。起工式では、参加者全員が工事の安全と早期完成を祈りました。



起工式終了後、場所を秋元公民館に移して直会が行われ、高千穂・日之影線整備促進期成同盟会の坂本会長が、これまでの経緯や地域住民の思いなど、乙女大橋への期待と関係者への感謝の意を込めて、挨拶されました。

乙女大橋が完成すると、両地区の往来が容易になり、さらなる生活基盤の充実が図られます。これからも関係機関との連携を強化し、乙女大橋はもとより、高千穂・日之影線全線の早期開通を目指して、取り組んでいきます。(※上の写真は林道橋の完成イメージ図)

西臼杵産ランンキュラスの出荷が始まっています

西臼杵はランンキュラスの国内有数の産地であり、花のボリュームや外観、豊富な品種バリエーションからブライダルを中心に様々なシーンで重宝されています。

12月頃から開花がはじまり、今出荷真っ盛りで、咲き誇った花を生産者は1本1本、品質を確かめながら収穫して、梱包作業を丁寧に進めています。

西臼杵産のランンキュラスは、ブランド名を「あまてらすランンキュラス」として取引されており、その品質の高さから、国内だけでなく海外でも高い評価を得て人気も高まっています。



延岡・西臼杵地域災害時相互応援体制に係る意見交換

1月16日（水）に、県北地域の災害時相互応援体制に係る意見交換会が西臼杵支庁で行われました。

会議には、管内3町と延岡市から防災担当者が集まり、南海トラフ地震等の大規模な災害発生時に、県北地域で円滑に応援体制を構築するための意見交換を行いました。県内では既に都城市を中心とした南部地域大規模災害対策連携推進協議会が設置されるなどの動きが進められています。

延岡・西臼杵地域でも、災害発生時の支援物資の輸送や、避難者の受入れなどに迅速に取り組むため、相互応援体制の整備に向けて引き続き協議を行うことが確認されました。



第2回障がい者のつどい

1月18日（金）に、障がいのある方などを対象に、「西臼杵地域障がい者自立支援協議会」と「食生活改善推進委員（生涯骨太クッキング事業）」との共催で「障がい者のつどい」を開催しました。

このつどいは、昨年から年に2回のペースで開催しており、ゲームや会話などの交流を通じて、障害のある方の居場所づくりを行っています。

今回は、西臼杵郡内の障害のある方12名が参加され、4班に分かれ、5品の料理を作りました。料理になれている方だけではなく、普段は料理をしない方も楽しく料理をすることができました。

また、食生活改善推進委員や管理栄養士さんが栄養素の話をしてくださり、参加者からは、「料理をすることがあまりなく、良い経験になった」との声をいただき、みなさん綺麗に完食をされていました。



平成30年度宮日新聞農業技術賞（個人の部）受章

1月18日（金）に、宮日会館において「平成30年度宮日新聞農業技術贈呈式」が開催され、西臼杵地域から五ヶ瀬町の甲斐郁夫・美樹夫妻が受賞されました。

甲斐夫妻は、山間地域において50aの夏秋ミニトマト栽培と水稻苗等の生産を行っており、郁夫さんは、JA高千穂地区ミニトマト部会副会長や五ヶ瀬町認定農業者協議会長、西臼杵地区同協議会副会長を、美樹さんは、農業経営指導士を務められており、地域農家の中核となって活躍されています。

今回の受賞、本当におめでとうございます！



「食と農」壁新聞コンクール表彰式

みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部では、管内の小学生に「食と農」に対する関心を深めてもらうと、毎年、壁新聞コンクールを実施しており、今年は30作品の中から、金賞をはじめ、9作品が入選しました。

金賞には、日之影小学校5・6年生の作品「日之影の宝 お米新聞」が選ばれ、育てたお米の紹介や育苗から収穫までの体験を通じて得たものが壁新聞として、綺麗に読みやすい形でまとめられていました。



その他の作品も食べ物や農業に対する感謝や発見が上手にまとめられており、力作揃いでした。

今後とも、壁新聞コンクールをきっかけに、家庭や地域で「食と農」への関心に繋げるようにコンクールを充実させていきます。

支庁の業務紹介（林務課・森林土木担当編）

森林土木担当では、西臼杵管内の治山事業及び林道事業における工事の設計・積算、監督指導業務を行っています。

治山事業では、山地災害から県民の生命・財産を守るため、災害の未然防止及び災害が発生した場合の早期復旧のため、構造物や植栽工等により災害に強い森林の維持・造成を行っています。

林道事業では、森林の持つ多面的機能（木材生産や地球温暖化防止機能など）を持続的に発揮させるために、経営管理を行うための基盤となる林道の開設や改良等を行っています。



発注にあたっては、工事予定箇所優先度や工法等を検討し、設計を行い、発注後は現場状況の確認や立会いを実施し、工期内完成を目指した現場指導を行います。

工事が進むにつれて、状況や地質の変化など突発的な事象が起こることもありますが、各現場において最適な工法を選択し最善の対策をとれるよう、担当内や施工業者と協議を重ねながら工事を進めています。

西臼杵地区はスギを中心とする人工林が本格的な収穫期を迎えており、今後も計画的な伐採と確実な再造林を行い、林業の成長産業化を進めることとしています。

これからも治山・林業両事業の立場から、西臼杵地区の林業発展に寄与できるよう、一つ一つの工事を着実に遂行していきます。

林産物流通センターで新春初市がありました

1月7日（月）に、新春初市が、県森林組合連合会の高千穂林産物流通センターで開催され、買い手となる県内外の製材業者や出荷者である西臼杵管内の素材生産業者など約50名が参加しました。

センターの事務所で行われた式典では、県森林組合連合会の長友会長の挨拶の後、買い手と出荷者の両方に対して感謝状が贈呈されました。

式典終了後、原木の長さや径級ごとに積み分けられた土場において、景気づけの3本締めの後、日之影町の佐藤町長や五ヶ瀬町の原田町長が初競りの売子となって、景気の良い掛け声が飛び交う中、多くの原木が競られ、昨年並みの1㎡あたり1万3千円程度の価格で落札されていました。

同センターにおける原木の平均価格は、材質が良いことや県外からの買い手が多いことなどから、県内では最も高い価格水準で推移しています。2019年も西臼杵の森林・林業にとって、さらなる飛躍の年となるように願っています。



西臼杵産のきんかん出荷が始まりました

完熟きんかんの出荷が1月15日（火）に解禁され、順調に出荷が行われています。完熟きんかんは、花が咲いてから210日以上樹上で育てられたものです。温度や水分など細かな管理を行うことがおいしさの秘密に繋がっており、生産者が果実ひとつひとつを大切に育て収穫しています。

1月中旬から3月頃までが旬で、じっくり成熟された果実は、生で皮ごと食べることで、華やかな香りと甘さを感じることができます。是非食べてみてください。

また、きんかんPRイベントを毎年2月に、カフェARIGATOで開催しています。高千穂・日之影でとれた完熟きんかんを使ったスイーツを楽しむことができ、参加者からも好評をいただいています。



高千穂高校で合格うどんの振る舞い

高千穂高校では大学入試センター試験を2週間後に控えた1月5日（土）に、保護者の皆様の御協力の下、受験生たちに向けた「合格うどん」の振る舞いが行われました。


「合格うどん」の振る舞いは今回が初めての試みで、うどんに入れる「かまぼこ」には【合格】の焼き印を入れ、とり天やおにぎりも振る舞われました。

受験を控えた生徒たちは頬をゆるめながら美味しそうに食べており、受験に向け決意を新たにしていました。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください！

